

そのGDPが前年と比べてどのくらい増えたか減ったかを見ればその国の経済が良くなっているのか悪くなっているのかがわかるね。この期間ごとの経済成長度合いを**景気**と言うよ。

好景気（好況）の時は

- ・生産量が増える・・・売れるからどんどん作れ！
- ・所得が増加する・・・儲かっているから給料どどーんとあげるよ！
- ・失業者が減る・・・たくさん生産するために人手が欲しい！
- ・物価が上昇する・・・多少高くても景気がいいから買ってくれる！

不景気（不況）の時は

- ・生産量が減る・・・売れないから作るのを止めよう、、、
- ・所得が減る・・・売り上げが厳しいから給料カットね、、、
- ・失業者が増える・・・あまり生産しないから人手が余る、、、
- ・物価が下落する・・・景気が悪いからみんな買うのを控える、、

また景気と合わせて俺達の生活に大きく関わるのが"物価"。商品の値段はその時の経済状況によって変わるから、物価が高い時もあれば物価が安い時もある。そんな物価の用語も学んでおこう！

インフレーション（インフレ）：物価がずっと上がる状態

- ・生産者にとっては・・・高い値段で売れるから嬉しい！
- ・消費者にとっては・・・高すぎて買えないよ！困る！

デフレーション（デフレ）：物価がずっと下がる状態

- ・生産者にとっては・・・売れても利益が出ないから困るよ！
- ・消費者にとっては・・・安く買えて超ラッキー！

社会の中では誰もが消費者であり、生産者でもある。安く買えてラッキーだけど、自分の商品も安く買われてしまう（泣）だから正常な経済を維持するように政府は財政政策、金融政策を行ってなるべく好景気を続けられるようにしているんだ。